

## 岐阜県経済の現状のポイント（平成 25 年 3 月分）

### 【生産活動】

#### <製造業全体>

- 製造業全体では、円安により収益面で改善傾向にあるものの、原材料価格の上昇が始まるとともに燃料費が高騰している。先行きについては、比較的明るい声が多い。

#### <その他機械産業等>

- はん用機械や生産用機械においては、海外からの受注があるなど引き合いが活発化し始めている。

#### <直近の円安の動き>

- 輸出が増加する一方で、原材料価格の上昇により製造コストを押し上げているが、販売価格への転嫁が難しく利益を圧迫している。

#### <地場産業>

- 紙及び木工は好調であったが、依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

### 【設備投資】

- 設備関係では、海外受注の減少幅が拡大し、4 四半期連続で前年の水準を下回り、減少幅も拡大している。

企業の設備投資意欲も改善する兆しがみえているが、補修・更新といったやむを得ない投資が依然として約半数を占めている。

- 住宅投資関係は、持家の住宅着工が好調で、6 ヶ月連続で対前年を上回っている。
- 工事関係では、24 年度内に実施された公共工事請負額は過去最低を更新。一方で大型補正による公共工事を期待し業界の雰囲気は明るい。

### 【消費・観光】

- 消費については、食料品が堅調に推移しており、衣料品についても春物の売上げが好調。商店街についても春休みに入った時期から客足が増えている。
- 観光面では、施設によってバラツキはあるものの、天候不順の影響等から前年の水準を僅かに下回っている模様。インバウンドはアジアを中心に緩やかな回復が続いている。

### 【資金繰り・倒産】

- 県内企業の資金繰りは低調な状況が続いている。また、設備投資資金をはじめ、企業の新規借入意欲は依然として弱く、経費節減に努めて借金返済に注力する企業や、条件変更によって資金繰りの改善を図る企業が大半である。

- 2 月の県内倒産件数は 8 件と、前年同月から 6 件減少、前月から 11 件減少となっており、2 月単月の倒産件数としては、過去 20 年間で、最低となった。

## 【雇用】

### ＜求人・求職動向＞

- 雇用を調整する企業がある一方で、業務量の増加により雇用を増やす企業もある。技術職や即戦力の人材を求めているが採用に苦慮している企業が多い。

### ＜新卒者の就職動向＞

- 今年度卒業予定の大学生においては、改善傾向にあり、求人数、内定率ともに概ね昨年度を上回っている。
- 今年度卒業予定の高校生については、昨年度を上回る求人が出ているハローワークが多く、内定率も前年を若干上回っている。